



自衛消防隊長
廣田 充克

(西淀川区)
株式会社ダイフク
自衛消防隊

万が一の火災に備え、また、まもなく発生すると言われていた南海トラフ地震に備え、企業として自衛消防隊の訓練を重ね、地域の皆様に役に立てるよう、日々努力して、行きたいと考えております。

株

株式会社ダイフクは、1937年に(株)坂口機械製作所として、大阪市西淀川区に発足。各種物流機械を手がけ、1984年に社名を株式会社ダイフクに変更されました。以来先進的な物流システムを提供し続け、本年5月に創立80周年を迎えられます。

現在は西淀川自衛消防協議会の副会長として、会員事業所における災害予防及び地域における防災活動を推



進し、また、協議会の事業に積極的に参加するなど、会の運営に多大なるご尽力を頂くとともに、35名で構成されている自衛消防隊員の育成に関しても西淀川自衛消防技術練成会や事業所での防災訓練等を通して、消火技術の向上や消火設備等の適切な操作の習得に励まれ、また、南海トラフ地震に備え、防災設備、備品の整備、それらの操作訓練も実施され、積極的に隊員の資質向上に努めておられます。



阪急電鉄「淡路駅」周辺の再開発や新築マンションの増加。17万人の人口を抱える東淀川区は日々変貌を遂げています。

昭和61年結成の「奥さま防災アドバイザー」から連綿と続く女性による防火クラブ活動は、17地域それぞれで活発な活動をされており、地域防災訓練や避難所開設訓

練、小・中学校での土曜防災学習などの行事にも積極的に参加されています。

また、警防技術練成会への応援見学(H27)やIFCCA会場での消防防災展・国際救助隊合同訓練見学(H28)などで消防業務への理解を深めるとともに、救命講習や防災研修などで自らの知識・技術の向上に努めておられます。

今後も「災害のない、安心して住みよいまち」を目標に、東淀川区女性防火クラブ員の防災活動への取組が続いていくことと思います。

